

団体名：萩往還工芸まつり実行委員会

活動名：萩市明木における地域資源を活用した地域づくり

代表者／<sup>うちむらみきお</sup>内村幹雄 所在地／萩市大字明木 3361 番地 1

## (活動紹介)

### 1 活動の目的

萩往還工芸まつり実行委員会は、萩広域合併により当地域が埋没してしまうのではという危機感から、住民が主体となって、地域に潜在する自然、歴史、文化、人などを見直して地域の資源として活用することにより、地域の人が地域に自信をもって生活できるよう「地域の力」を残すためのまちづくりを目的とする団体です。

### 2 これまでの活動内容等

#### ◆ 実行委員会組織の設立

平成16年2月に、地域の有志10人で実行委員会を設立しました。

#### ◆ 実行委員会の開催

毎年1月からまつりの当日までに、実行委員会を10回開催しています。

#### ◆ 萩往還まつり「<sup>あきらぎ</sup>技・明木展」の開催（5月3日・4日）

歴史の道「萩往還」の街道沿いにある明木市は、かつて参勤交代の宿駅として栄えました。現在でも、石積や地割は当時のままで、石州赤瓦屋根の景観とのどかな田舎の風情がマッチして、往時の宿場の面影を留めています。

「技・明木展」は、萩往還交流施設「乳母の茶屋」を主会場に、街道に面した民家の軒先等を活用して、「技」をキーワードに、伝統の技法を受け継いだ豆腐、饅頭、地酒等の地域の特産品と県内外の伝統工芸品の展示販売や、絵画・彫刻の展示、ミニコンサート等を行って往時の賑わいを再現し、来場者にのどかな田舎の雰囲気とプロの工芸家や芸術家の技を心ゆくまで楽しんでいただき、地域住民と来場者、出店(展)者との交流を図っています。

### 3 活動の展望

今後も、地域住民、出店(展)者、来場者のコミュニケーションを図りながら、更なる地域力の向上を目指して、10回を目標に、まつりの継続と発展に努めていきます。

また、「萩往還」や「明木市」の歴史ボランティアガイドの育成や、街道沿いの古民家等の保存及び利活用を行い、まちなみ景観の維持に努め、魅力ある地域づくりを推進していきます。



【「技・明木展」の様相】